

1. 協議会名称 カムイ大雪バリアフリー推進協議会  
 代表者 吉田 貴彦(一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム運営議長)

2. テーマ  
 積雪寒冷地における都市拠点と旭山動物園を結ぶ歩行者移動支援サービス

3. 実施概要  
**【サービスの提供対象者】**  
 高齢者、障がい者、来園者  
**【提供するサービス内容】**  
 寒冷期等の歩行困難から低体温化による不測の事態を回避できる安全な逃げ場案内、現地バリアフリー情報の事前紹介、シームレスな徒歩移動経路の案内、周辺の観光情報を提供  
**【位置特定方法】**  
 GPS、Wi-Fi、QRコード  
**【携帯情報端末】**  
 携帯電話、タブレットPC(GPS機能、WEB閲覧機能)

4. 構築した歩行者移動支援サービスのイメージ

ナビゲートの基本操作の流れ

①QRコード等からサイトへアクセス

②属性選択・推奨ルート表示

③ルート上のアイコンクリックで静止画・動画再生

「いまどこ?」

- GPSを利用し、自分の位置が常にマップ上に表示

緊急時避難場所マップ

- 緊急時の退避場所(避難所等)の表示・案内

5. 今後の方針

- ・協議会等の実施体制の維持
- ・継続的なサービス提供に向け、夏期歩行空間ネットワークデータの整備により、夏・冬二本立ての提供サービスの公開
- ・利用者からの相互交換情報を集めるため、システム利用の呼びかけを強化
- ・低温、降雪時の対応として、クリック数を少なくするシステムの改善を検討

1. 協議会名称 いわきユビキタス社会化推進協議会  
 代表者 大場 敏宣(社)いわき観光まちづくりビューロー副会長)

2. テーマ  
 安全な観光まちづくりの推進

3. 実施概要

【サービスの提供対象者】

高齢者、一般市民観光客、ボランティア、復興関連事業者等の市外からの来訪・滞在者、車椅子使用者、地域住民

【提供するサービス内容】

- ・緊急地震速報表示と避難所誘導)
- ・平時(屋内・屋外のまち歩きガイドサービス) ・有事(屋内・屋外の緊急地震速報表示と避難所誘導)

【位置特定方法】

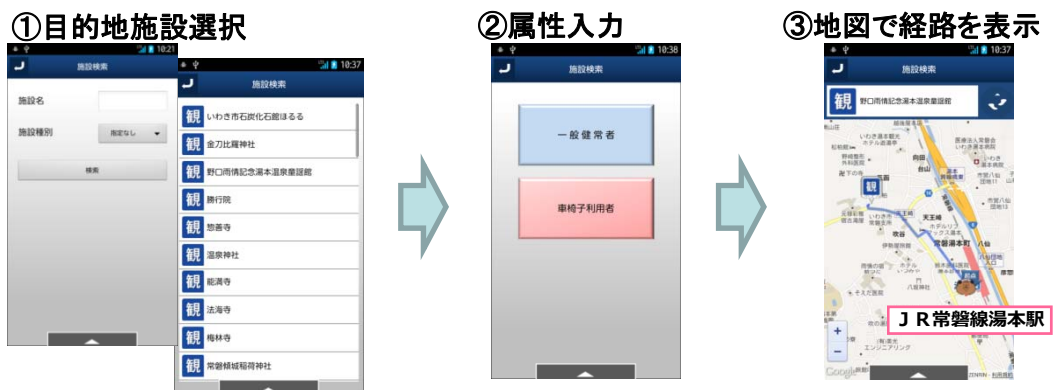
GPS、無線LAN(Wi-Fi)

【携帯情報端末】

スマートフォン(Android)、タブレット、iPhone、iPad

4. 構築した歩行者移動支援サービスのイメージ

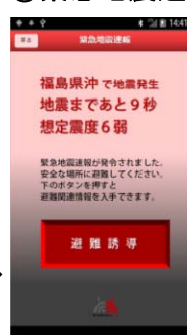
ナビゲートの基本  
 操作の流れ



いわき緊急時非難ナビ

- アプリを事前にダウンロードしておく
- 地震発生時には、通信回線が遮断しても現地周辺の避難所等を表示し、選択・誘導を行う

①緊急地震速報

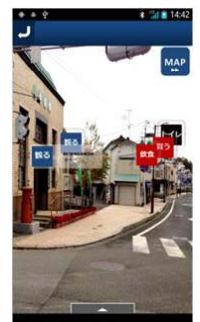


②最寄の避難所まで誘導



ARカメラの活用

- AR( Augmented Reality: 拡張現実)カメラと施設情報のリンク



5. 今後の方針

- ・協議会等の実施体制の維持
- ・他地区(市内)の観光エリアとの連携を視野に入れたサービス提供エリアの拡大
- ・位置情報特定の精度向上に向けた取組みの実施
- ・緊急時避難ナビの情報提供の継続に向けた検討

1. 協議会名称 渋川地区観光特別宣伝協議会  
 代表者 大森 隆博(渋川伊香保温泉観光協会会長)

2. テーマ  
 移動制約者に感動を与えるまち歩き誘導、多言語対応によるインバウンド振興

3. 実施概要  
**【サービスの提供対象者】**  
 車イス使用者、高齢者、外国人来湯者、初来湯者  
**【提供するサービス内容】**  
 まち歩きルート推奨、まち歩きガイド(カメラAR画面、地図画面、音声再生ガイド)、周辺観光情報の表示、周辺観光情報の詳細表示、施設検索及びガイド、ソーシャル系によるツイート  
**【位置特定方法】**  
 GPS  
**【携帯情報端末】**  
 スマートフォン(Android)、タブレット、iPhone、iPad

4. 構築した歩行者移動支援サービスのイメージ

ナビゲートの基本  
 操作の流れ



ARカメラの活用

- AR (Augmented Reality: 拡張現実)カメラと施設情報のリンク



多言語化対応

- 日本語、英語、中国語(繁体)



5. 今後の方針

- ・協議会等の実施体制の維持(協議会において情報の更新作業が行えるように操作の習熟を図る)
- ・伊香保温線地区の地理的な状況を考慮し、回転地図の採用を検討
- ・地図APIについて、サービス実施主体が主導的に情報を修正・更新できるOSMの活用を検討
- ・音声再生の多言語化を検討


1. 協議会名称 伊勢・旅バリフォン開発協議会  
 代表者 中村 元(特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター理事長)

2. テーマ  
 伊勢神宮を訪れる、この地域に不案内な様々なタイプの観光客の道案内

3. 実施概要  
**【サービスの提供対象者】**  
 歩行困難者、聴覚・言語障害者  
**【提供するサービス内容】**  
 バリアフリー経路案内、伊勢神宮内(内宮・外宮)の地図表示および経路案内、立ち寄りスポットのバリア情報、トイレ情報、駅構内のマップ表示および経路案内、バス乗車案内・タクシー案内・車イス駐車場案内  
**【位置特定方法】**  
 GPS  
**【携帯情報端末】**  
 スマートフォン(Android)


4. 構築した歩行者移動支援サービスのイメージ

**ナビゲートの基本操作の流れ**




①目的施設(出発地・目的地)選択

②属性入力




③地図で経路・注意箇所を表示




**イラストマップの作成**

- バリアフリー情報を盛り込んだ内宮、下宮及び駅構内のイラストマップを作成



**バリアフリー情報の一元化**

- バリアフリー情報を集約し、利便性を向上



5. 今後の方針

- 協議会メンバー間の緊密な意見交換のため、定期的な協議会の実施
- 利用促進のため、運用端末及びスマホアプリの更新を計画
- パーソナルバリアフリー基準に基づき、引き続きバリア情報の調査、公開を継続

1. 協議会名称 明日香まると博物館づくり推進協議会  
 代表者 森川 裕一(明日香村長)

2. テーマ  
 古都明日香の史跡を巡る高齢者・障がい者・観光来訪者等を対象とした歩行者移動支援サービスの実現

3. 実施概要  
**【サービスの提供対象者】**  
 土地に不慣れな者、高齢者、車イス利用者、ベビーカー利用者  
**【提供するサービス内容】**  
 主要施設のバリアフリー情報の提供、トイレ・休憩施設の案内、史跡・寺社・博物館等の観光施設の案内、食事場所・特産品販売・宿泊等サービス施設の案内、バリアフリー経路案内、現在地の近傍施設の検索・案内  
**【位置特定方法】**  
 GPS、Wi-Fi、QRコード  
**【携帯情報端末】**  
 スマートフォン(Android)、タブレット、iPhone、iPad、iPod-touch、従来の携帯電話、PC

4. 構築した歩行者移動支援サービスのイメージ

ナビゲートの基本操作の流れ

①目的施設選択 ②施設基本情報 ③地図で経路・注意箇所を表示

ハイブリッド経路案内

- 明日香村地区(歩行空間ネットワーク作成エリア)の外からの経路案内に対応
- Google MAPによる経路と歩行空間ネットワークデータの経路を合成して案内する

橿原神宮前駅(エリア外)から酒船石へ案内 通行注意箇所

5. 今後の方針

- ・明日香村・地域振興公社を中心に、WG(ワーキンググループ)で事業継続
- ・Wi-Fiルータの設置・増設による環境整備、拡大
- ・適切な経路表示に向けた検討の継続
- ・周辺自治体との連携による情報提供エリアの拡張